

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年12月7日(2023.12.7)

【公開番号】特開2023-58895(P2023-58895A)
 【公開日】令和5年4月26日(2023.4.26)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-078
 【出願番号】特願2021-168684(P2021-168684)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和5年11月29日(2023.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技可能な遊技機であって、

表示手段を備え、

前記表示手段は、

音量値に対応する音量値表示を表示可能であり、

音量値表示が表示されていない状況で可変表示が実行され、可変表示の終了から所定期間が経過した場合、音量値表示を表示可能であり、その後、始動条件が成立した場合、音量値表示を表示することなく、可変表示を行うことが可能であり、

30

音量値表示が表示されていない状況で可変表示が実行され、可変表示の終了から所定期間が経過した場合、音量値表示を表示可能であり、その後、デモンストレーション表示の表示開始条件が成立した場合、音量値表示を表示することなく、デモンストレーション表示を表示可能であり、その後、デモンストレーション表示が時間経過により終了した場合、音量値表示を表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

【0006】

請求項1に記載の遊技機は、

遊技可能な遊技機であって、

表示手段を備え、

前記表示手段は、

音量値に対応する音量値表示を表示可能であり、

音量値表示が表示されていない状況で可変表示が実行され、可変表示の終了から所定期間が経過した場合、音量値表示を表示可能であり、その後、始動条件が成立した場合、音量値表示を表示することなく、可変表示を行うことが可能であり、

50

音量値表示が表示されていない状況で可変表示が実行され、可変表示の終了から所定期間が経過した場合、音量値表示を表示可能であり、その後、デモンストレーション表示の表示開始条件が成立した場合、音量値表示を表示することなく、デモンストレーション表示を表示可能であり、その後、デモンストレーション表示が時間経過により終了した場合、音量値表示を表示可能である

ことを特徴としている。

対応図面：図30

10

20

30

40

50